

□大学院共通科目

科目名	先端老年社会科学講座 (国立長寿医療研究センター連携科目)	1 単位
担当者	島田 裕之 (客員教員)、片山 脩 (非常勤教員)、宇田 和晃 (非常勤教員) 下田 隆大 (非常勤教員)、川上 歩花 (非常勤教員)、張 姝 (非常勤教員)	
開講形態	ハイブリッド形式	
テーマ	高齢者や老化の問題を学際的な視点から学ぶ	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 健康増進、疾病・障害予防、コホート研究、認知症</p> <p>&lt;内容の要約&gt; 老年社会科学は、高齢者や慢性疾患患者の保健・医療・福祉に関する諸問題に対し、医学、心理学、社会学、福祉学、栄養学など様々な学問における理論や方法論を用いて学際的な視点から研究を行う学問である。本講義では、6名の担当者から基礎知識だけでなく、老年社会科学に関する最新の知見を紹介する。</p> <p>&lt;学習目標&gt; 老年社会科学の基礎的な知識と最新の知見を理解し、個々に問題意識や関心を持ち、現在の立場でできる行動計画を立案することができる。</p>	
授業の進め方	<p>第01回 高齢化の疾病・障害予防についての動向 (島田)</p> <p>第02回 高齢者の認知症予防 (片山)</p> <p>第03回 高齢者の介護保険サービスをめぐる現状とエビデンス (1) (宇田)</p> <p>第04回 高齢者の介護保険サービスをめぐる現状とエビデンス (2) (宇田)</p> <p>第05回 高齢者の身体活動 (下田)</p> <p>第06回 高齢期の栄養・口腔機能 (川上)</p> <p>第07回 高齢期の公衆栄養：認知症予防食生活 (張)</p> <p>第08回 高齢者の内在的能力 (張)</p>	
事前学習の内容・学習上の注意	各回における講義テーマについて事前に文献等を調べて事前学習をすること。	
本科目の関連科目	福祉と疾病、リハビリテーション特論Ⅰ、医療・福祉マネジメント (以上、医療・福祉マネジメント研究科開講科目) 高齢者福祉論特講 (社会福祉学専攻 (通信) 開講科目)	
テキスト	指定なし	
参考文献	指定なし	
成績評価方法と基準	各講義日 (2限分) の小レポート 40 点、最終レポート 60 点で 100 点満点。 総合評価により 60 点以上を合格とする。	